

公表（児童発達支援）

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 放課後等デイサービス よりそい		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 7 月 1 日		～ 令和 7 年 5 月 30 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4 名	(回答者数) 4 名
○従業者評価実施期間	令和 6 年 7 月 1 日		～ 令和 7 年 5 月 30 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 名	(回答者数) 5 名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 6 月 10 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広いスペースを利用した運動療育。	広いスペースを生かした運動や療育を取り入れることで、様々なアプローチを行うことができる。 また、児童発達支援に寄り添った運動内容、プログラムを提供できるようにしている。	引き続き、広いスペースを活用し効果的なプログラムを考えていきます。
2	ご利用者が楽しく運動に参加している。	基本的な運動を取り入れつつ、指導員の特色に合わせた運動を取り入れることによって、ご利用者が楽しく運動に参加できるように工夫をしている。 ご利用者も成功や失敗を繰り返す中で少しずつ体の使い方がうまくなっています。	運動する中で、繰り返し行う必要もあるが、ご利用者の反応も見ながら楽しんで運動に参加できるプログラムを考えていきます。
3	サービス提供内容、運動に関する事だけでなく、保護者様からの相談にも向き合うことができている。	その日の様子をお伝えするだけでなく、子どもから聞いた学校・園のお話や送迎時の様子から気付いたことなどをお伝えし、保護者様からの相談などにも積極的に応じている。 また、会話を通じコミュニケーションを図ることで、安心感を得ていただけるように努めている。	情報共有や話し合いを密におこない、運動だけでなく、生活面での困りごとの改善にも対応できるよう、個々のご利用者に対して職員の意識を高め応じていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	固定枠に空きがなく、キャンセル待ちの方が多くいること。	固定枠に空きがないため。	固定枠であっても、キャンセルの頻度が高い曜日については、保護者様のご希望に沿ってご案内させていただく。
2	地域連携や保護者様同士の交流等。	事業所内や事業所対保護者様で完結してしまっていることが多い。	地域でのイベントや保護者様間で交流できるようなイベントを開催していきたい。
3	保護者様が、事業所の様子を見に行く機会が少ない。 また、学校や園との情報共有の場が少ない。	保護者様からの要望で見学を対応することはあるが、事業所から積極的に見学会等の開催を行うことがない。	保護者様、学校や園、相談支援事業所等が見学すること自体は、支援の透明化を図るうえで大切であり、今後は積極的に実施していく。 また、学校や園での様子を知るためには、事業所側からアポイントを取る必要がある。